

華

76
HANA

「華」76号
令和8年5月
発行



「秋華祭」の色とりどりの展示作品（左/ふじい 右/常清の里・真華苑）

ふじだな

近年、我が国の季節が「二季」とも称されるぐらい、「寒」か「暑」の極端な気温に悩まされておりますが、新緑の季節を迎えてしばらくは過ごしやすい気候が続いてほしいものと願っております。

気候のみならず、国内外の政治・軍事・経済情勢も激動が拡大し、総選挙の結果、安定した国会運営が期待される中、原油価格高騰による経済不安等が増大しています。平和国家を標榜する日本にとりましては、ひたすら一日も早い事態の鎮静化を切望するところです。

私達の願いは、社会的支援を必要とされる方が住み慣れた地域で安心して豊かな生活を送って頂けるような社会の構築にあります。そのためには、職員が高い人権意識のもとで任務にあたるのが基本ですが、同時に社会の変化に即応した支援方法の向上に努めることも重要です。

今年度の慶徳会事業計画でもデジタル技術を活用した新しい取り組みを予定しておりますので皆様のご理解とご協力を得て進めてまいりたいと考えております。

第24回 秋華祭・文化発表会を開催 6年振りの生出演!



令和7年11月12日(水)、茨木市生涯学習センター「せらみきホール」で「第24回秋華祭・文化発表会」を開催しました。
「コロナ禍のため5年間にわたる動画配信開催を経て、このたびは6年ぶりに、ご利用者が会場で舞台発表をして頂くとともに、動画配信のハイブリッド形式で実施し、お隣様で18名の方々にご来場頂き、盛大に開催することができました。



第一部は、真華祭の森大輔副団長の司会で進行し、すっかりお馴染みとなった「和太鼓Do-Do-Do」様の和太鼓の音色と響きが会場一杯に広がる迫力ある演奏で、オープニングを飾って頂きました。
式典では、理事長の挨拶に続き、長年児童養護施設の子と連へご支援を下さっている方(後掲)と顕著な功績のあった職員に感謝状が贈呈されました。



続いて臨席下さいました、来賓の茨木市長福岡洋一様、茨木市長副市長福引季之様、そして茨木市社会福祉協議会会長上田真夫様からはそれぞれ温かいご挨拶を頂きました。
贊助ご出演は、このたび初めて「ジョイタレントイメント」様にお願ひしました。ジャグリングや中国の伝統芸能(変面)が扇子を軸にかざした瞬間に次々と変わる「変面」、迫力満点なイリュージョンを披露して頂き、会場と各事業所で夏の暑さを大いに楽しませて下さいました。



第二部では、司会を子どもの中田希希副主任としみずの中治世帆児重指揮員にバトンタッチし、法人内事業所を7組に編成し、6組が会場、1組が動画で発表しました。
トップバッターは「静華苑」・「春菊荘」合同の発表で、音楽療法士の橋本加寿先生、柚木たまみ先生、朝野典子先生のご指導のもと、「くらくらボランティア」の皆様にもご協力を頂いて、全員を披露しました。ご出演の皆さんが心から音楽を楽しまれる様子に会場全体が和やかな雰囲気になりました。

「しみず」はダンスと歌で会場を盛り上げました。演技をされる皆さんの自信に満ちた笑顔がとても印象的でした。
「光華苑」・「春菊苑」合同の発表では、橋本先生のピアノ伴奏のもと、昭和のアニソン3曲の合唱と合奏を披露しました。来場されたご家族が「感動して涙が止まりません」と声をかけて下さり、発表の成功を喜び合いました。
「真華苑」は1年前から取り組んでいたフレイブル予防のための体操を披露しました。久しぶりの舞台でしたのでテンションが上がり、一鼓団結して取り組むことができました。

「真華苑の理」は、ご利用者の生活や生きいきと活動されている姿を紹介した動画を観て頂きました。



「子どもの家」の子ども達は舞台上で英語の「寿限無」の一曲を披露し、緊張しながらも大きな声で発表することができました。
トリを務めたのは地域密着型施設「ふじ」・「せきま」・「なでしこ」は「合同チームで、音楽療法士の福盛陽子先生の丁寧な演出とご指導のもと、合同寸劇で会場を大いに盛り上げました。特に寸劇では職員の間を張った演技が笑いを誘い、場者の歓声と拍手が会場を包みました。
ホールに隣接するホールAでの作品展示では、各事業所の多彩な作品が並びました。大阪・関西万博をテーマに共同制作したフラワーパワー作品や、絵画・書道、編み物などの日頃の活動を通して積み上げた成果が感じられる個性豊かな作品が多数展示され、来場者の目を惹きつけました。
実行委員を中心に準備を進めてまいりましたが、秋華祭の成功は多くの関係者のご協力と支えによるものです。また、ご利用者や職員が一丸となり練習や準備に取り組んだ成果が多くの笑顔と感動を生みました。



今後、慶待会は地域福祉の拠点として真摯に事業に取り組んでまいります。秋華祭はその想いを形にする大切な行事として、今後ますます充実を努めてまいります。
皆様のおかげで支えを占領い申し上げます。
【撮影させて頂いた方】
田田 功 悦子 様
1めぐみの聖
1しみず
1光華苑・春菊苑



展示作品
1しみず
1光華苑・春菊苑

1展示作品の前でポーズ(光華苑・春菊苑)

「YOUNG MAN」会場の皆さんと一緒にダンシング!(しみず)

1西沢康代

1めぐみの聖

1しみず

1しみず

修正会とお祝い会 新年を寿ぐ



矢次業務執行理事の講話に聞き入るご利用者



令和8年の五巨日は、年の始めにふさわしい、穏やかで暖かな日差しとともに明けました。

法人内の老人ホームでは、元日から2日にかけて、修正会を勤修し、新年お祝い会を開きました。

修正会は、新たな年を迎えるにあたり、仏さまの御て身を正し、改めて自身を見つめ直す法要で、常清の里では、元日10時から毎年ご協力頂いています。打本弘祐師に導師をお願いして、ご利用者14名が参加され、12時半からは、華の間で神主上専四郎の導師で、役職員の方が参加し、また、光華苑、春菊苑は、13時から、矢次業務執行理事の導師により、ご利用者25名が参加され、それぞれ厳かな春團圓の中でお勤めを致しました。

修正会の前夜に、各事業所で新年お祝い会を開き、厨房職員による心づくしのおせち料理を味わって頂きながら、年の始めを寿ぎました。

一方、真華苑では、元日にお祝い会を開き、修正会は2日10時に森大輔副施設長の導師により、25名のご利用者に参加頂き、清々しい気持ちでお勤めを致しました。

初めとする関係者の皆様、そして茨木市長の福岡洋一様、同市福祉部長の澤田信一様ほか関係者の皆様にもご臨場賜り、温かい激励のお言葉を頂戴しました。

この度の助成を最大限に活用し、地域全体の活性化に貢献するとともに、各関係機関との連携を密にし、地域福祉の充実に一層努めてまいります。

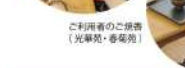
これまでも増して、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



導師と講話を勤める 森副施設長



お経本を熱心に唱和（光華苑・春菊苑）



ご利用者のご挨拶（光華苑・春菊苑）



打本禪明によるお勤め（常清の里）

ニッセイ財団チャレンジ活動

難病では、これまでから認知症の方が気軽に集い、地域の方々と交流できる認知症カフェ「かふえりら」を毎月開催してまいりました。

この度、「かふえりら」を主催する当法人の在宅介護支援センター所属の認知症地域支援推進員が中心となり、公益財団法人日本生命（ニッセイ）財団の「高齢・地域共生社会地域福祉チャレンジ活動助成事業」に応募し、「世代を超えて認知症の人とみんなで作る多機能型カフェ」事業が採択されました。

この取り組みは従来の認知症カフェの枠を広げ、世代間の交流を促進し、地域の多様なニーズに応える機能を備えるものです。

認知症で本人の方にも積極的に運営にご参加頂きながら、地域全体で支え合う「多機能型ニッセイサルカフェ」として進化させていくことを目指しています。

私達は、この「コニバーサルカフェ」を通じて、保健・医療・福祉の枠組みを越え、地域全体をつなぐ拠点づくりに尽力してまいります。

認知症の方や地域住民の皆様が抱える不安を軽減し、誰もが自分らしい生き方を享受できる、かけがえない拠点となるよう、力を合わせて取り組んでまいります。

令和7年10月25日に慶徳会本部研修室で、本事業の備忘式・キックオフミーティングが執り行われました。



贈呈式にご出席下さった皆様

2025年度 ニッセイ財団 高齢・地域共生社会 地域福祉チャレンジ活動助成事業式

入進学卒業お祝い会



久し振りに、ご利用者にもご出席頂きました

め合う瞬間はとても暖かく感じました。

子ども達のお礼の言葉は「一人ずつ一歩ずつ目標」を披露し、北原白秋の詩「ひとつのこぼ」をフレンドに朗読しました。

高校に進学する女兒の一人が「ひとつの言葉を大切に、ひとつの言葉を美しく」と締めくくりに言葉を優しく力強い声で述べ、沢山の拍手を頂きました。

励ましのお言葉はデイサービスセンター静華苑ご利用者の川原治男様から頂きました。立ち上がり応援のメッセージを述べられ、最後には子ども達もともに手を上げて、「がんばろう!!」と大きな声で発声しました。

コロナ禍以来、ご利用者と直接触れ合う機会がなかったのですが、笑顔を交わし、ハイタッチや握手でお互いの手ぬくもりを感じ合う素晴らしい時間を過ごすことができました。



子ども達一人ひとりにプレゼント

令和8年3月20日（金・祝）の香分の日、常習室で「入進学卒業お祝い会」を開催しました。

7年ぶりに高齢者事業所のご利用者7名の皆様にもご参加頂き、とても和やかな春團圓の中で始まりました。

入進学は幼稚園に3名、小学校に5名、中学校に3名、高校に5名の都合16名です。

ご利用者の方々からお祝い品を子ども達一人ひとりに手渡しでプレゼントされ、お互いを見て

いつも温かいご支援ありがとうございます！

ご寄付を頂戴した方々

令和7年1月～同8年2月（敬称略・五十音順）

【個人様】

秋岡 壽	川端 郁子	高橋 秀幸	藤原 綾子
秋田 美香	佐伯 誠	辰巳 隆	松宮 正和
安藤 昌治	佐々木 亜由	西野 国輔	三坂 文乃
石堂 マス子	坂岸 謙一	林田 征司・さち子	三股 弘樹
岡 恵子	白井 真一	春木 和美	柳川 裕之
岡田 功	調 隆信	福尾 剛志	大和 治文

【団体様】

朝倉歯科医院	(有) サンサー商会	ファーストリテイリング
いずみ市民生活協同組合	(社) 生命保険協会大阪府協会	カラース (株)
茨木地区更生保護女性会	総合メディカル (株)	藤田歯科医院
大阪キリスト教短期大学	ダーナ委員会	(株) フレーベル館
(社) 大阪職業協会	田中歯科クリニック	(宗) 樺天宗
(株) 掛谷工務店	紡ぎの庵	(株) 北部市場運送
丘勢本建機 (株)	中谷カルーナ財団	(株) マインドウエイブ大阪
キコーナ茨木 (株)	24 時間テレビ事務局	丸山鍼灸院
北川整骨院	日清医療食品 (株)	(株) 万代
(財) クジラ育英会	(財) 日本出版クラブ	(株) みなと
CRAICE	(社) 日本レコード協会	

職員20名を顕彰

令和8年1月15日、藤井教恵先生祥月法要の日に職員顕彰を行い、理事長から、感謝状等と記念品を贈呈しました。永年勤続表彰については、勤続35年が1名、同20年が8名で、外部の機関・団体から表彰・感謝状を受けた職員が9名、そして、理事長感謝を受ける職員が2名の合計20名（下記に記載）の皆さんです

顕彰された職員の皆さん（令和8年1月顕彰）

勤続35年法人表彰			全国社会福祉協議会会長表彰		
子どもの家	施設長	舟木 康二	春 菊 苑	業務執行理事	矢次 淳一
勤続20年法人表彰			近畿児童養護施設協議会会長表彰		
静華苑	法人主任栄養士	見市 えり子	子どもの家	児童指導員補助	松丸 美代
大阪府社会福祉協議会老人施設部会長感謝状			大阪府社会福祉協議会老人施設部会長感謝状		
常清の里	主任	抱 祥成	光華苑	宿直員	佐々木 博
春菊苑	副主任	田村 祐輔	春 菊 苑	介護職員	中嶋 正人
子どもの家	調理員	山下 靖子		看護職員	立田 光子
真華苑	介護職員	藤波 公絵	ローズハイツ茨木	用務員	野島 菊
	調理員	田辺 利美		理事長感謝	
常清の里	介護職員	栗尾 由佳理	しみず	指導員	上 智美
大阪府社会福祉事業従事者知事表彰				相談員	森分 久美子
子どもの家	保育士	小林 仁美	(注)所属と職名は、顕彰時現在です。		
茨木市立西小学校校長感謝状					
真華苑	副施設長	森 大輔			

職員互助会

楽しかった日帰り研修旅行

令和7年度の職員互助会の行事として、皆さんから人気の高い「日帰り研修旅行」を実施しました。9月29日に大阪・関西万博、10月21日に宝塚（兵庫県）、11月21日に伊根・天橋立（京都府）の3コースを計画し、併せて91名の会員に参加して頂きました。

宝塚コース

大劇場の玄関前で



千島温泉ホテルでのランチタイム

手塚治虫ミュージアム

宝塚コースには22名が参加し、「千島温泉ホテル」でランチバイキングの昼食後、「宝塚市手塚治虫ミュージアム」を楽しみました。

その後、宝塚大劇場で「宙(そら)組」公演の「PRINCE OF LEGEND」を観劇しました。初めての方も多く、タカラジェンヌによる絢爛豪華で優美な任務のステージに一同とても感動しました。

万博会場の西ゲート前で



大阪・関西万博コース

大阪・関西万博コースには、35名が参加し、昼食に展望が素晴らしい「アートホテル大阪ベイタワー 51階スカイビューフェ」でランチバイキングを味わった後、世界中から多くの観客で賑わった万博会場を訪れ、互助会が予約した「三菱未来館」で「未知なる深海から通かなる宇宙へ」のテーマによる、いのちを巡る壮大な旅を味わいました。その他のパビリオンは、参加者各自が予約し、中には10カ所も訪れたつわものもいて、世界の文化と先端技術や人類の夢に触れる貴重な機会となりました。



ランチバイキングを楽しむ

伊根・天橋立コース



かに料理に舌鼓

伊根・舟屋群を背に

伊根・天橋立コースには34名が参加し、遊覧船により伊根湾を巡り、雄壮な舟屋群の情緒あふれる風景を海上から楽しみました。その後、「橋立大丸シーサイドセンター」でカニ料理に舌鼓を打ち、贅沢な気分をひと時を過ごすことができました。

ダーナ友愛訪問

ご厚情に感謝

令和8年1月26日、大阪教務所長仲尾信博様を初め大阪教区仏教婦人会連盟役員8名の皆様が「ダーナ友愛訪問」として、事務局の方々とともに

にご来訪の上、浄土真宗本願寺派ご信徒の皆様のご浄財とタオル等の日用品を寄贈して頂きました。

皆様は常観堂でお勤めされ、引き続き、理事長から慶徳会の成り立ちと常観堂及び慶昌堂を紹介し、展示品を鑑賞して頂いた後、光華苑をご視察下さいました。

なお、ご厚志は広報活動経費や事業所環境改善に活用させて頂く予定です。

心から感謝を申し上げます。



合掌

新しいホームページ
分かりやすく
親しみやすくなりました



リニューアル
しました!!

ぜひ
ご覧ください!

慶徳会ホームページ



慶徳会では、令和7年7月に法人のホームページを一新しました。

これまでの画面は、法人の概要や利用基準などが中心で、外部の方に親しみにくく、かつ、事業所個々の情報が少なかったことに加え、法人側の一方通行の発信であったことなどから、アクセスやリピート数が極めて少ない状況にありました。

そこで、技術面では専門業者に委託するとともに、各事業所から選任した委員によるプロジェクトチームを結成し、1年半にわたって、鋭意検討を重ねました。

新ホームページでは、まずは、事業所ごとにアピール事項や求人情報等について、スマートフォンに対応する分かりやすい写真やデザインによる目を引くレイアウトに工夫を重ねました。

また、インスタグラムとの接続で身近な情報発信と閲覧者とのスマートフォンによるコミュニケーションが可能となりました。

お陰様で、リニューアル後はアクセス数が増加し、事業所の利用率向上の兆しも見られます。

今後、さらにレイアウト等企画に工夫を加え、とともに、複合的に事業所を運営する慶徳会と各事業所の魅力と事業に取り組む真摯な姿勢等を遺憾なく発信し、地域の皆様と福祉事業就労に関心をお持ちの方々から一層信頼され、選ばれる法人・事業所に成長するよう努めてまいります。

編集 慶徳会 広報室
〒567-0035 茨木市見付山1丁目3-29
電話 072-665-5167
FAX 072-665-5166

社会福祉法人 慶徳会のホームページ

<https://www.keitokukai.or.jp>

